科目名	母性看護学演習ⅢB Maternity Nursing Seminar ⅢB	担当教員 （研究室番号）	大平 肇子（104） 森實かおり（非常勤）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数（時間）	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	母性看護専門看護師の周産期母子援助場面でのプライマリーケア、正常からの逸脱や合併症・緊急事態への対応の実際を学び、包括的・総合的な看護実践、卓越した看護実践能力について理解し、その役割について考察する。また、母性看護専門看護師による研究活動の現状と課題、周産期母子援助への研究成果の活用について学び、研究的に問題に対処する姿勢を養う。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標	１．母性看護専門看護師の高度看護実践について理解し、周産期母子援助場面での役割を考察することができる。 ２．周産期母子援助における研究動向の現状と課題を理解し、母性看護専門看護師が取り組むべき研究課題について考察することができる。	
成績評価方法（基準）	レポート（50点）、プレゼンテーション（40点）、ディスカッションへの参加状況（10点）	
教科書	必要時、紹介します。	
参考書等	必要時、紹介します。	
受講者へのメッセージ	個々のプレゼンテーションとディスカッション、臨地での実践を通して学んでいくため、事前学習をしっかり行うことが必要です。主体的・積極的な取り組みにより、自らの研究課題の探究へと発展することを期待します。	
備考		

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解	科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習について	大平	対面（講義）
２回	臨地（病棟）での演習に向けた学習課題の明確化	臨地での演習に向け、産科病棟での母性看護専門看護師としての役割を６つの機能に基づき整理し、専門看護師の活動場面への参加観察における学習課題を明確にする。	大平/学外協力者	対面（演習）
３回	病棟での活動場面への参加観察をとおした高度看護実践の理解①	【臨地での演習❶】産科病棟（MFICU、NICU・GCUを含む）での母性看護専門看護師の活動場面への参加観察を通じて、専門看護師に求められる包括的・総合的な看護実践、卓越した看護実践能力について理解する。	大平	対面（演習）
４回	病棟での活動場面への参加観察をとおした高度看護実践の理解②	【臨地での演習❷】産科病棟（MFICU、NICU・GCUを含む）での母性看護専門看護師の活動場面への参加観察を通じて、専門看護師に求められる包括的・総合的な看護実践、卓越した看護実践能力について理解する。	大平	対面（演習）
５回	母性看護専門看護師の病棟での実践プロセスと看護実践能力	母性看護専門看護師とともに実践場面を振り返り、フィードバックを受けながら、専門看護師が産科病棟で６つの機能（実践、教育、相談、調整、研究、倫理）をどのように発揮し、包括的・総合的な看護実践へとつなげているのか、卓越した看護実践能力の具体的内容について討議する。	森實	対面（演習）
６回	臨地（外来）での演習に向けた学習課題の明確化	臨地での演習に向け、外来での母性看護専門看護師としての役割を６つの機能に基づき整理し、専門看護師の活動場面への参加観察における学習課題を明確にする。	大平	対面（演習）
７回	外来での活動場面への参加観察をとおした高度看護実践の理解①	【臨地での演習❸】外来（産婦人科外来、助産外来、周産期精神科外来など）での母性看護専門看護師の活動場面への参加観察を通じて、専門看護師に求められる包括的・総合的な看護実践、卓越した看護実践能力について理解する。	大平	対面（演習）
８回	外来での活動場面への参加観察をとおした高度看護実践の理解②	【臨地での演習❹】外来（産婦人科外来、助産外来、周産期精神科外来など）での母性看護専門看護師の活動場面への参加観察を通じて、専門看護師に求められる包括的・総合的な看護実践、卓越した看護実践能力について理解する。	大平	対面（演習）
９回	母性看護専門看護師の外来での実践プロセスと看護実践能力	母性看護専門看護師とともに実践場面を振り返り、フィードバックを受けながら専門看護師が外来で６つの機能（実践、教育、相談、調整、研究、倫理）をどのように発揮し、包括的・総合的な看護実践へとつなげているのか、卓越した看護実践能力の具体的内容について討議する。	大平 森實	対面（演習）
10回	母性看護専門看護師の実践プロセスとEBP	周産期医療ケア場面で母性看護専門看護師はどのようにEBPのプロセスを適用していたのか、母性看護専門看護師だからこそ可能な役割とは何か具体例を挙げて検討する。	大平	対面（演習）
11回	母性看護専門看護師による研究活動紹介	母性看護専門看護師による研究活動の実例をもとに、看護実践の創造、変革、改善のためにどのような研究課題を見出し、解決に向けてどう取り組んでいるのか理解を深める。	森實	対面（演習）
12回	母性看護専門看護師による研究活動の現状と課題	母性看護専門看護師による研究活動の現状と課題、周産期母子援助への研究成果の活用について学び、研究的に問題に対処する姿勢を養う。 ・現在臨床で抱えている研究課題と、これまで取り組まれている研究内容	大平	対面（演習）
13回	専門領域の重要課題に関する研究動向と母性看護専門看護師が取り組むべき研究課題	EBPの研究成果の臨床での活用例を参照し、臨床実践を変革できるような研究課題について検討する。 ・研究成果の臨床での活用の実際 ・母性看護専門看護師が今後取り組むべき研究課題	大平	対面（演習）
14回	周産期における母子のプライマリーケアと緊急事態に対応できる能力を身につけるための自己課題の明確化①	母性看護学実習Ⅰに向け、周産期における母子および家族への質の高い看護を実践していく上での実習課題について討議し、自己課題を抽出する。	大平	対面（演習）
15回	周産期における母子のプライマリーケアと緊急事態に対応できる能力を身につけるための自己課題の明確化②	母性看護学実習Ⅰに向け、周産期における母子および家族への質の高い看護を実践していく上での実習課題について整理し、自己課題の明確化を図る。	大平	対面（演習）